

高安月郊 たかやすつきょ 詩人、劇作家、文藝評論家。明治二年二月十六日攝津國生れ、昭和十九年二月二十六日歿（八六元一九四）。本名二郎。別號月下庵、月下庵主人、月郊散人、秋風、秋風吟史等。醫家小生れると文學に専心。イプセン最初の翻譯紹介者。

著譯書「犧牲」(本名、明治二十六年二月十一日大阪・自刊)、
「重盛」(同、明治二十九年九月、二十四日自刊)、
「イブセ 社會劇」(譯

明治二十四年十月、二十一日東京專門學校出版部「文學叢書」)、
「江

戶城明渡」(明治二十六年五月、二十八日博文館)、
「麻覺草」(内題

「ねぞのむぐさ」明治二十九年六月十日金尾文淵堂)、
「櫻時雨」(明

治二十九年十月十一日南馬太郎編輯、大阪・芝居道樂社)、
「豐旗雲

一あやの會詩集第一」(合著・あやの會、明治二十九年十一月十九日

左久良書房)、
「明治詩集」(合著・吉野臥城編、明治四十一年一月

二十七日昭文堂)、
「魔の曲」(明治四十四年五月、二十五日自刊、上

田屋發賣)、
「ブルザツク作」(ハム爵夫人の秘密」(譯、大正二年十一月

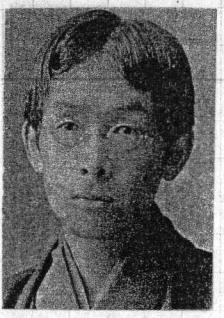
十日新潮社「新潮文庫」)、
「東西文學比較論」(大正五年五月一

日自刊)、
「月郊脚本集(一)」(大正五年七月一日自刊)、
「月郊

文集」(大正六年九月十一日自刊)、
「月郊詩集」(大正七年十月一

十九日自刊。特製七十五部)、
「東

西文藝評傳」(昭和四年六月四日春

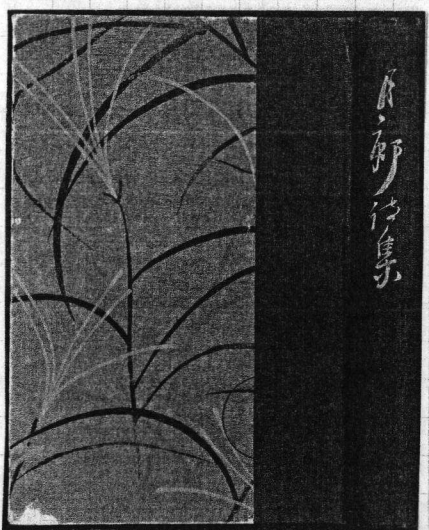


陽望)、
「日本

文藝復興史」(昭

和四年八月十日

早稲田大學出版部)、
「日本文藝近



月郊詩集

代史』(昭和五年六月十九日早稻田大學出版部)、
『高安乃里』(昭和九年六月十四日書物展望社)、
『神祇の曲』(昭和十六年二月十八日新潮社)等。